

414
A 4146
2

明治維新世運一變シテヨリ凡百ノ事物トシテ
多少ノ變動感觸ヲ被ハラサルモテラス改進風潮勢
力實ニ驚クニ堪ヘタリ持ツ宗教ノ如キハ塵海波瀾間
ニ優遊シテ敢テ此風潮ニ誘ハレズ宗基確立法燈明
赫以テ今日ニ持張シテ倍盛ナルヲ得タリ蓋宗教ハ之
妙不測遠ク為及ガレ境域ニ存スルヲ如何ニ
世運ノ變動ニ遭フモ其感觸ヲ被ハラス萬古不易一
定動カス可ラサルモノタルカ故ニ非スヤ

鳥
會

大正十一年四月
隈侯爵邸寄附



然リト虫氏教ヲ布クノ便方民ヲ度スルノ達道ニ至リテハ
能ク世態ノ傾向ト共ニ推移セサルハカラス蓋我教門ハ
本務タル^其宣教ニ死後靈魂ノ歸着スル所ヲ示シ生
前脩身ノ要旨ヲ知ラシメ或ハ國民義務ノ在ル所ヲ諭シ
或ハ政府施政ノ方途ヲ示シ平時ニ在テハ病者ヲ養育貧
民ヲ救ヒ不具ヲ助ケ罪囚ヲ誨ヘ水火災厄ニ救恤貧患
ニ戦争飢饉ニ救護金ヲ与フル等濟度ノ方慈惠ノ
道固ヨリ一ニシテモ之ヲスト虫氏要スルニ能ク世態推遷ノ
活機ニ應シテ活法ヲ施スニ在リ

惟ルニ我國外邦ノ貿易ヲ開キテヨリ僅ニテ數年然ルニ文
化日ニ進ミ政俗月ニ華ナリ其進歩ノ速カナル古未萬國
多ク其例ヲ見サル所ナリ然レモ國運ノ一弛一張亦理勢ノ免
カルヘカラサルモノアリ近年貿易上輸出ハ相匹衡セシテ金
貨頻リニ欠乏ヲ告ケ内地物價近來愈騰貴ノ状ヲ呈
ハセリ爰ニ於テ乎世輿論ハ概テ罪ヲ紙幣ノ過多ニ歸ス
ルモノ如シ然ルニ今面茅四ノ号ノ公布アルヲ見テハ政府財
政ノ針路亦輿論ト共ニ帝幣消却ノ一途ニ傾向セラレタ
ルモノニ似タリ此財政論ノ如キハ余カ所見ヲ以テハ頗世論ニ

及スルモノアリト云氏今此書ノ要旨ニアラサルヲ以テ茲ニ論述
セス今ヤ此輿論ヲシテ筆舌ニ盡ス談止マラシメハ社會ノ實
際ニ於テ大ナル影響無カルヘシト云氏業^既己ニ輿論ノ帰向ス
ル所實施シテ財政ノ針路トナリ人民ノ方向トナルニ至ラハ其
関涉スル所甚少ナラサルナリ故ニ其論議ノ得失^{如何}
ハ姑ラク置キ仮ソニ其理ニ適スルモノナリトスルモ一利一害目
前ニ業^作商賣等諸般^業衰頽ラ来ヌスラ奈何
センヤ就中工業ノ如キハ其害ヲ被ル尤甚シ何トナレハ
元来我國民多クハ資本ニ乏シキヲ以テ金利モ亦随テ高^貴

區
會

加フルニ運財ノ便未開ケサルヨリ自然各業ノ資本自カラ
多額ヲ要スル等ノ原由アリテ人民ノ獨力以テ起業ニ堪
ユルモノ稀ナリ政府早ク茲ニ見マシ苟モ國益ノ見込アルモノ
ハ事ノ大カラ問ハス低利ノ資本ヲ貸付シ特別ノ保護ヲ加
ヘラレタルヲ以テ凡^漸産ヲ生シテ興スノ事業一トシテ政府ニ
倚賴シ其實助ヲ蒙ラサルモノアラス其事業^漸稍ノ將ニ
興隆セントスルノ時機ニ當リ忽然此財政改革ノ變又ニ
際シ政府ハ断然紙幣銷却方嚮ニ傾南テヨリ通^夫貨
ハ日ニ其欠乏ヲ告ケ金利^益騰貴ヲ極メ金融ノ一途頓

鳥
會

ニ退縮窘困状ヲ呈セリ故ヲ以テ其新タニ起興ラサスル事
 業ハハユシク中道ニ駐止シ其既ニ起興セルモノハ其規模
 縮少シ若クハ全ク廢絶ニ属スル者ナキヲ保ツヘカラス且誠
 ニ痛歎ニ堪ヘサル所ナリ元來細民ノ依テ以テ衣食スル所ハ
 概子工業ニアルヲ以テ工業一タビ衰頽スル寸ハ細民忽其
 業ヲ失ヒ相率テ遊手ノ徒ニ歸セサルヲ得ス所謂恒産
 無クハ恒産無キモノニシテ豈能其不良ノ民ヲラサルヲ保マ
 ンヤ蓋今テ日現況ハ日文明速進ノ反響動ナレハ苟モ我
 國民タルモノハ銳意以テ此一時困難ヲ凌キ益工業ヲ振

起シ通商ヲ隆盛ナラシメ以テ富國ノ基ヲ建テ相共安
 神ノ地位ヲ定メサルヘカラス我門在リテ常ニ世態ヲ推遷
 ラ觀察シ今則財政改革ノ影響ヲ所ヲ推究スルニ其意
 被最ル速カニシテ且甚シキハ工業ノ一途ニシテ之カ為メ細
 民凍餒ノ苦界ニ陥ル状ヲ見ンコラ恐ルナリ細民凍
 餒ニ苦ナシテハ我徒復安クニカ布教ノ地ヲ求メシヤ且我
 今日變又革ニ當リ將來ヲ憂苦シ袖手傍觀スルニ忍ビサ
 ル所以ナリ因テ爰ニ一法ヲ設ケ專ラ工業ノ振張ヲ誘掖セ
 ントス其法タル他ニ非ス現時我門徒ノ數百有餘方戸

アリ此輩豫從來我宗教ノ皇張ヲ希カニ布教資金ヲ
 寄納セシコヲ望ムモノ毎見ニ尠少ナラス故ニ今此布教資
 金ニ共セントスルモノヲ集募シ壹百方圓會銀行ヲ設立シ此資
 金ヲ以テ諸般事業ノ興起勸ヲ誘シ衰頹ヲ挽回シ細民ヲ
 シテ衣食良ヲ資ルノ地ヲ失サラシメ我門徒平多素ヲ宿養願空
 シカラス益布教ノ境域ヲ擴充スルヲ得ン蓋軍綱通通
 貨ノ道他銀行其各會社ノ擔當スルアリ故ニ今我銀寶
 會ハ專ラ後工作前開墾等ノ起業者ニ向テ低利ト優償トノ
 方法ヲ以テ其資力ヲ輔益スルヲ以テ本務トナサントス故ニ

苟モ我ト此感想ヲ同フシ真愛若憲ヲ共ニシ護國濟愛衆
 ノ志アルモノハ其宗旨如何ヲ問ハズ相共ニ来リテ我微志
 贊成セシコヲ希望スルノコト

真教寶會創立概則

第一條 其名稱ハ真教寶會ト稱スヘシ

第二條 當寶會本^局ハ京都府下何所何番

地ニ設ケ支^局ハ各道各所ノ末寺又ハ別院

ヲ以テ之ニ充テ何道何地支^局ト稱スヘキ

第三條 當寶會ノ資本金ハ壹百萬圓トシ

五拾圓ヲ以テ壹株トシ總計貳万株ト定ム

第四條 株金募集方ハ一株即ケ五拾圓ノ

半額貳拾五圓ヲ初回入金ニシテ残り半額ハ

証書ヲ出シ十二月以内ニ入金スルモ随意
タルヘキナリ

官業科目

貸付金之事

第一項 工業業資金貸付

是ハ設立主義書ニ明記スル所ノ内地
工業奨励ノ為メ貸付ルモノニシテ其ノ
貸付ノ方法ハ工業場アル地方廳ハ照
會シ或ハ其保証シテヒ工業場一切ノ
所有物若シクハ諸器械ホリ抵当トシテ
之カ貸付ヲナスヘシ而メ此償却法ハ借

主ツシテ元金ニ對シ年八歩ノ利息ヲ
拂ハシメ其元金ニ對シ年四歩ニ当ルノ
額ヲ以テ其元金返済ニ充テ毎月此
差引決算ヲナスヘシ此ノ如クシテ三々年ヲ
経クル後ハ更ニ前例ヲ改メ償却残元金ヲ
以テ通常貸金トナスヘシ

附リ此ノ如ク返済方法及々利息ノ割合ヲ
三々年目ニ於テ其方法ヲ更改スル所以
ノモノハ如何ナル工業ニテモ凡ソ三々年ヲ

経バ必ス其永續ノ目途ニ到達シ相當
ノ利息ヲ拂ヒ得ヘキ見込ニシテ若シ或ハ
其期ニ至リ尚大目途ニ到達セサルモノハ
適宜改正ノ處置ヲ施スヘキ見込
アレハナリ

第二項 開墾土資金貸付

此貸付法モ工業資金貸付法ニ同シ
其開墾土スヘキ地方廳ニ照會シ或ハ其保
証ヲ乞ヒ開墾土ノ地所及ヒ器械等ヲ抵當

トシテ之カ貸付法ヲナスニ在リ而シ此返済
方法ハ五ヶ年内ニ元金ニ對シ年八歩ノ
利息ヲ拂ハシメ外ニ年四歩ニ當ルル金
額ヲ以テ其元金返済ニ充テ而シ此決
算ハ一ヶ年ノ終ニ於テナスヘシ右五ヶ年ヲ
経タル後ハ前項ノ如ク通常貸金ト為
スヘシ

附リ工業業ト開墾上ト其償却ノ年限ヲ
異ニシタルモノハ蓋シ工業業ノ一ハ着手

稍ハ容易ニシテ其効ヲ奏スル速カナ
ルヲ得ヘケレ氏開墾上ノ事ハ之ト異リ
其効ヲ遠キニ期スハキモノニシテ難易
モ自ラ別アルニ因レハナリ

第三項 蓄財貸金

此蓄財貸金ハ公債証券ヲ抵当トシテ
年壹割ノ利息ヲ付シテ貸付方ヲナスモノ
ナリ而シ此償却方ハ月賦ヲ以テスルモノ
トス

附リ蓄財ヲナスノ法ニ種々アリト魚氏
 本原ニ示ス所ノモノハ前キニ負債ヲ
 起シテ後ニ之ヲ償却スルモノニシテ
 例ヘハ千圓ノ金ヲ蓄ヘントスルモノハ
 公債証書ヲ買ヒ之ヲ抵當トシテ金若干ヲ
 借受テ月々得ル所ノ給料ナリ利益
 ナリヲ以テ之ヲ償却シ終ニ此公債証
 書千圓ヲ以テ已レノ貯蓄トナスヲ
 得ルノ法ナリ蓋シ身ヲ節儉ニシテ

後來ノ餘裕ヲ謀ルハ此方法ニ如ク
 モノアラサルハシ

預リ金之事

第一項定期預リ金

六ヶ月ヲ以テ一ネ子ト定メ利子ハ年八歩ヲ
 付スヘシ若シ中途ニシテ受取方ヲセフ
 ハハ利子ヲ改メテ六歩トナシ返戻スヘシ

第二項當座預リ金

期限ヲ定メス預リ主ノ都合ニ由リ何時

シラモ引出ス一ラ得ヘシ利子ハ年五歩ト
定メ其預タル金全負ノ多寡カニヨリ利子ノ
増減ヲナス一アルヘシ

第三項 積立金預リ

此積立金ノ方法ハ種々アリ別冊ニ詳載
セリ

第四項 公債証書預リ

此公債証書預リ方ハ一年二季ニ下付セラ
ル、利子ヲ待ツ能ハス月々入用ノモノニ前

貸シテ利子ヲ立替ヘルタメ預カルモノ
ニシテ例ヘハ千圓ノ公債ヲ所持スルモノ月々
利金ノ渡方ヲセフモノハ千圓ノ利子一々
月分即チ五圓余ヲ渡スヘシ

附リ老幼婦ヤノ養育費又ハ学校
病院ホノ如キ共有物ノ消費金ニ
充ルニハ公債証書ヲ基本トシ山利
子ヲ以ラスルニ如クモノヲラサルヘシト筆ヲ
如何セシ此利金ハ一歳中二季ニ下付

セラル、モノナレハ半年ノ貯ヘアルニ非サレハ
之ヲ為シ難シ因テ本項ノ如キ便法ヲ
設ケタルナリ

為換之事

巡廻為換

此為換ハ主トシテ宗徒廻國等ノ便ニ供スル
モノニシテ其方法ハ例ハ西京ヨリ東京ニ
至ラントスルモノ百圓ヲ持テシ為換ニ取
組マンコトヲ乞フキハ左ノ雛形ノ如キ手形

ヲ与フヘシ此手形ハ一道中何レノ支局
ニテモ入用丈ノ金負ヲ受取ルコトヲ得

巡廻為換手形

一金百五拾圓也

但方金ノ通貨高ニ任拂也

右方市野ハ長壽殿ノ正ニ交ルル所也又ハ其指馬ノ方
前書ノ金負百五拾圓ノ高何時モ望ムコトノ但ク世裏ニ
右渡一貫金仕拂ノ節ニ此ノ形ヲ引替ルコトヲ得
ルコト也

明治十二年六月一日

東海道代官

真教賢書

東京支局

セラル、モノナレハ半年ノ貯ヘアルニ振サレハ
之ヲ為シ難シ因テ本項ノ如キ便法ヲ
設ケタルナリ

為換之事

巡廻為換

此為換ハ主トシテ宗徒廻國等ノ便ニ供スル
モノニシテ其方法ハ例ヘハ西京ヨリ東京ニ
至ラントスルモノ百圓ヲ持冬シ為換ニ取
組マンコトヲセフキハ左ノ雛形ノ如キ手形

形手形金貨教本は海東

ヲ与フヘシ此手形ハ一道中何レノ支局
ニテモ入用丈ノ金貨ヲ受取ルコトヲ得
ヘキモノトス但シ為換打歩ハ成ルヘシ
低價ヲ以テ取扱フヘシ

雛形

東海老翁寶金形

第一號批金額五兩五錢四分

受面人

任捕金

號金

任捕坊金

第幾代店

第幾代店

第幾代店

第幾代店

第幾代店

價
三
三
三
三
三
三

組

三

三

三

為
三
三
三
三
三
三

A blank ledger page with a red border and ten vertical columns. The page is aged and shows signs of wear, including small tears and discoloration. The columns are evenly spaced and extend across the width of the page.

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

區
雨
會